

平成三十九年度

豊島岡女子学園高等学校

入学試験問題

国語

注意事項

- 一. 合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 二. 問題は□一から□二、2ページから15ページまであります。
合図があったら確認してください。
- 三. 解答は、すべて指示に従って解答欄に記入してください。

□ 次の文章を読んで、後の一から十までの各問いに答えなさい。

(ただし、字数指定のある問いはすべて句読点・記号も一字とする。)

ネガティブ・ケイパビリティを獲得するためには、記憶も理解も欲望も妨げになると、^{*}ピオン¹が言った背景には、精神分析学会におけるこうしたマニユアル第一主義に対する懸念があったのだと思います。

前章でも触れたように、精神分析学には蓄積された膨大な理論があります。こういう症状の裏には、こういった生育史が抽出できる。こういう事態は、これこれの治療段階でよく生じ、これこれの理由によるものだ、といった具合です。

これらの定理を頭に入れておけば、目の前に生じた事象も、患者の症状も、迷わずに理解できます。理論をあてはめればいいだけの話です。本人は一向に悩む必要はありません。一種のマニユアル化です。

これをピオンは嫌ったのです。これでは、生の患者と生の治療者との(A)「 」^{*}一会の出会い、交わされる言葉の新鮮さと重みが、台なしになってしまうと危惧したのです。

私は、①分かっているつもりの画一的思考が陥った例として、ピロリ菌の発見をよく思い出します。慢性胃炎と胃癌^{いがん}の原因とされ、日本人の二人にひとりを持つているピロリ菌が発見されたのは、一九八三年オーストラリアの二人の医師によつてです。ヒトの胃から採取したらせん状の細菌の培養に成功したのです。

酸性である胃の中で生息する細菌がいることは、その百年前から散発的に報告されてきました。しかし一九五〇年代になって米国の病理学の^{*}大御所¹が千人以上の胃の生体標本を調べ、細菌は発見できなかったと報告して以来、三十年の長きにわたって、胃酸環境内無菌説が信奉され続けました。

当時、胃の内視鏡が最も発達して、よく使われていたのは日本でした。ですから、国内の何千人もの消化器内科の医師たちは、日々、患者の胃の中をのぞいていたはずで、胃液を採取して顕微鏡で検鏡した医師も、何百人かはいたでしょう。たまたま何か

細菌のような物体を見ても、これはゴミか、アーチファクト（人工産物）だと見なして、それ以上の追求はやめていたと考えられます。

まさしく大御所の間違つた高説を記憶し、理解し、さっさと片づけたいという欲望が、ピロリ菌の発見を遠ざけたと言えます。ピオンが、記憶も理解も欲望もなく、と強調するのは、そういう落とし穴に気づいていたからでしょう。

② ピオンの主張に似た話として、古代中国の『莊子』に混沌があります。

あるとき混沌という神が、南海の神と北海の神を呼んで、大いにご馳走をやりました。宴が終わり、満足した南北の神は相談して、返礼として目鼻を贈ることにしました。というのも混沌には目も口も鼻も耳もなかったのです。混沌が寝ている間に、二人の神は、鼻の穴を二つ、口をひとつ、目を二つ、耳の穴を二つあけました。やっと目鼻がついたと南北の神は大喜びしたのですが、そのときはもう混沌は死んでいました。

行き過ぎた知性化が、何か大切なものを殺してしまうという教えでしょう。

私が三十年近く友誼をいただいている方に、神経心理学者の山鳥重先生がいます。脳と心のつながりという極めて微妙な問題を、分かりやすい言葉で解き明かしてくれます。

脳が理解する、分かるのはどうということかについても、素晴らしい記述があります。

山鳥先生によれば、分かるのといつてもその水準はさまざまで、③ 浅い理解と深い理解があるといえます。浅い理解でどまりやすいのは、重ね合わせ的理解です。いわゆる小さなこまごまとした理解を積み重ねて、大きな理解を目ざします。しかし現実は、そううまくいくものではなく、いくら積み重ねても断片のままに残っているのが実情でしょう。前に述べたピロリ菌の発見も、何千人何万人何十万人という内視鏡検査の蓄積があつても、不可能だったので。

これに対して、山鳥先生は発見的理解を推奨します。これには既存の理解や教科書は、あまり役に立ちません。自分で発見していくしかないかたちの理解です。それには自然というモデルが参考になります。自然にはマニュアルがありません。自然の解明の

足がかりとして立てられるとしたら、自分の考えた仮説くらいです。

この仮説に沿って自然を観察し、うまく説明できるかどうかを検証します。この検証には到達点がありません。不断に検証を自ら重ねることによって、深い理解、発見的理解に到達します。

この山鳥先生の見解は、そのままキーツのネガティブ・ケイパビリティを想起させます。キーツは詩人や作家が、ヒトを含めた自然と対峙したとき、今は理解できない事柄でも、不可思議さや神秘に対して④拙速に解決策を見出すのではなく、興味を抱いてその宙吊りの状態を耐えなさいと主張します。ヒトと自然の深い理解に行きつくのには、その方法しかないのです。そうやって得られた理解は、⑤その本人にとつての地図になり海図になるのでしょうか。

(中略)

もうひとつ、最近心に残った随筆に、作家黒井千次氏の「知り過ぎた人」があります。

黒井氏は若い頃、某新聞の書評委員を務めていました。月二回ほどの会合に十数名が集まり、誰がどの本の書評を書くか決めるのです。その会合で、あるとき高名な作家が、若手の文芸評論家で (B) 博覧強記で知られた大学教授に、ある質問をしたそうです。すると例によって⑥外国語にも堪能なその教授は、即座にそれはこうこうですと答えました。こんなやりとりが何回も続いたため、大作家は「俺はもう、あんたにはものを訊ねないよ。何を訊いても知らないことがないのだから、つまらないよ」と、半ば冗談めかして言ったのです。

黒井千次氏は、そこに大作家の本心を感じとった思いがしました。大作家は、相手に、自分が抱く疑問に参加し、一緒に考えてみる姿勢を期待したのに違いなかったからです。そして大作家のその言葉に、謎や未知の事柄に向き合うときの姿勢を読みとって感動したといえます。

この黒井くろい氏の感慨はビオンが一九七六年ロサンゼルスで行ったセミナーを思い出させます。そこに「問いと答え」に関する鋭い指摘があります。セミナーの構成員はおよそ二十五人で、精神科のレジデント（研修医）や精神療法家、心理学者などでした。

セミナーの中で、ビオンはフランスの作家であるモーリス・ブランショ（一九〇七—二〇〇三）の言葉を引用しました。

ブランショは、ソルボンヌで学んだあと医学部を出た神経精神科医で、パリのサンタンヌ病院で働いたこともありました。活動の幅は広く、小説家、文芸評論家、哲学者として著作を残し、九十五歳の高齢で死去しました。

そのブランショの言葉は次のとおりです。

——*La réponse est le malheur de la question.*

（答えは質問の不幸である）

つまりビオンに言わせると、ブランショの指摘のとおり、答えは好奇心にとって不幸であり、病気なのです。

——*The answer is the misfortune or disease of curiosity——it kills it.*

（⑦答えは好奇心を殺す）

ビオンはそうとまで言い切りません。黒井千次くろいせんじ氏の随筆に描かれた、大作家と（C）少壮気鋭しょうじうきりゆうの学者のやりとりの本質を、見事に突いているとは思いませんか。

この短い随筆のしめくくりは、ビオンの、ひいてはキーツが主張するネガティブ・ケイパビリティと、見事に呼応します。

黒井千次くろいせんじ氏は八十年代半ばの大作家であり、日本芸術院長も務められているので、その意を尽くした文章を味わってもらうために、そのまま引用します。

それにしても、とあらためて考えざるを得なかった。謎や問いには、簡単に答えが与えられぬほうがよいのではないかと。

不明のまま抱いていた謎は、それを抱く人の体温によって成長、成熟し、更に豊かな謎へと育っていくのではあるまいか。そ

して場合によっては、一段と深みを増した謎は、底の浅い答えよりも遙かに貴重なものを内に宿しているような気がしてならない。

全くそうです。ネガティブ・ケイパビリティは拙速な理解ではなく、謎を謎として興味を抱いたまま、宙ぶらりんの、どうしようもない状態を耐えぬく力です。その先には必ず発展的な深い理解が待ち受けていると確信して、耐えていく持続力を生み出すのです。

(『ネガティブ・ケイパビリティ 答えの出ない事態に耐える力』 帚木 蓬生)

〔注〕 *1 ビオン・イギリスの医学者、精神科医、精神分析家。

*2 『莊子』中国、戦国時代の道家の思想家莊子の著書とされるもの。

*3 キーツはイギリスのロマン派の詩人。

問一 ―線①「分かっているつもりの一画一的思考が陥った例」とありますが、それを具体的に説明したものととして最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 胃の中に細菌がいることはかなり前から散発的に報告されていたが、病理学の大御所の見解の方を正しいと信じたので、多くの医師たちは研究の対象を新たにすることになったということ。

イ 病理学の大御所が胃酸環境内無菌説を唱えたために多くの医師たちは特に検証もせずその説を手放しで信じてしまったので、内視鏡でどれほど胃の中を見てもピロリ菌の発見には至れなかったということ。

ウ 日本では胃の内視鏡が最も発達していたにもかかわらず、間違った高説に影響され細菌に関する研究意欲をそがれたため、

結果的にただ多くの患者の胃の中を見ていただけで終わったということ。

エ 医療機器はかなり発達していたがそれを扱う医師たちの多くが病理学の大御所の高説を鵜呑みにしていたため、胃から細菌を採取して培養してみようという意欲を持たなかったということ。

オ 消化器内科の医師たちの中には胃液の中に細菌らしきものを見るものもいたが、広く知られていた胃酸環境内無菌説との矛盾からそれを細菌とすることがためられたため、ピロリ菌の発見が遠のいたということ。

問二 — 線③ 「浅い理解と深い理解」とありますが、ここで言う「深い理解」のしかたについて説明したものとして最も適当なものをおの次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 細かな知識を積み重ねて問題の解決を目指そうとするのではなく、不思議な出来事に常に関心を抱き自分の直感を信じることを通して、自然の本性を確認していこうとするもの。

イ 自分の浅薄な知識に頼って安易に答えを得ようとするのではなく、自然界に見られる数々の不思議さに積極的に関わることを通して、人類にとって価値のある謎を発見していこうとするもの。

ウ 多少疑わしくてもとりあえず答えを出すことを優先しようとするのではなく、自分なりの仮説を用意し粘り強く調べるところを通して、自然の神秘を実感していこうとするもの。

エ その時々で得てきた知識を集約しすぐに答えを導こうとするのではなく、慌てずともいずれ全ては解明されるはずだと信じることを通して、根気強く問題の本質に向き合っていこうとするもの。

オ 小さな理解を積み重ねて大きな理解に至ろうとするのではなく、解けない問題に向き合い自分で答えを設定してそれを検証し続けることを通して、事物の本質を見つけていこうとするもの。

問三 — 線④ 「拙速に解決策を見出す」とありますが、このような態度の背後にはどのような考え方があり、本文の中より最も適当な語句を十字以内で抜き出さない。

問四 —線⑤「その本人にとつての地図になり海図になるのでしょう」とはどういうことですか。この箇所の理解としてふさわしくないものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 本人が今後あらたな問題に直面した際に頼るべき手段となるということ。

イ 本人が今後自然と向き合っていく上で大きな参考となるということ。

ウ 本人が今後生きていく上で持つに値する知恵となるということ。

エ 本人が今後過去の自分を振り返るきっかけとなるとということ。

オ 本人が今後人生を送るにあたってより良い導きとなるとということ。

問五 —線⑥「外国語にも堪能なその教授は、即座にそれはこうこうですと答えました」とありますが、なぜ教授は「即座に」

答えたと考えられますか。その説明として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア もともと該博な知識で知られた学者であり、何か訊かされたことについては即答するのを当然としていたから。

イ 相手が大作家とはいえ知識量があまりにも違いすぎ、博学で知られた教授にとっては大した質問ではなかったから。

ウ 相手が大作家として高名な人物だったので、自分の該博ぶりを誇示したいという衝動に突き動かされてしまったから。

エ 相手の質問について熟考しようなどはつゆほども思わず、何か答えさえすればいいものと信じて疑わなかったから。

オ 目の前の問いに対して手持ちの理論を当てはめることで、特に悩むことなく迷わずに理解することができたから。

問六 —線⑦「答えは好奇心を殺す」とありますが、なぜだと考えられますか。その説明として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 謎や未知の事柄は新たな可能性を含んでいるものなのに、安易に答えを教えられるとその可能性を信じられなくなってしまうから。

イ 謎や未知の事柄に向き合う時に、答えをいち早く手にすることで、どんな問題であれ解決することは可能だと安易に考え

てしまうから。

ウ 謎や未知の事柄に向き合う時に、すぐに答えが提示されると、目の前にある事柄がもつ固有性や目新しさが奪われてしま
うから。

エ 世の中には謎や未知の事柄が数多く存在するため、たとえ答えがすぐに与えられたとしても、新たに別の謎が生じてしま
うから。

オ 世の中には謎や未知の事柄が数多く存在するため、すぐに答えを知らされてしまうとそれで満足し、次の問題に目を移し
てしまうから。

問七 本文の内容を説明したものとして最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 筆者はピオンやキーツの主張に賛同する立場に立つてその理解を読者に促すために、ピロリ菌の発見が遅れた話や黒井千
次氏の随筆などに言及している。

イ 筆者はピオンやキーツの主張に賛同する立場に立つてその主張を社会に広めるために、山鳥先生が説く浅い理解の弊害の
話や『莊子』の一節を紹介している。

ウ 筆者はピオンやキーツの主張に賛同する立場に立つてその理解を自らも一層深めるために、あえて『莊子』や山鳥先生の
言説に触れながら彼らの考え方の限界を確認している。

エ 筆者はピオンやキーツの主張をなるべく分かりやすく読者に紹介するために、ピロリ菌の発見が遅れた話や筆者が黒井千
次氏を敬愛する話などと対照させながら論じている。

オ 筆者はピオンやキーツの主張をなるべく分かりやすく読者に紹介するために、『莊子』に見られる愚かなふるまいの話や山
鳥先生の脳と心に関する研究などについて語っている。

問八 一線②「ビオンの主張に似た話」とありますが、混沌こんとんの話はビオンの主張とどのような点で似ているのですか。混沌こんとんの例を具体的にあげながら、八十字以上百字以内で答えなさい。

問九 一線(A)「一」「一会」とありますが、四字熟語となるように空欄「 」に入る適当な漢字一字を答えなさい。

問十 一線(B)「博覧強記」・(C)「少壮気鋭」の意味として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

(B) 「博覧強記」

ア 豊富な知識を武器にして議論を優位に進めること。

イ 自己の見聞を広めるため率先して行動すること。

ウ 広く書物を読み様々なことをよく覚えてのこと。

エ 勤勉というわけではないが何でもよく知っていること。

オ どれほど知識があっても安心できず幅広く読書すること。

(C) 「少壮気鋭」

ア 本質を突いた意見を得意そうに述べること。

イ 年齢のわりによく物事に精通していて動じないこと。

ウ ある特定の分野において洞察力に優れていること。

エ 年が若く意気盛んで将来が期待されること。

オ 研究熱心で自己の考えに強くこだわること。

〔二〕 次の文章を読んで、後の一から七までの各問いに答えなさい。

(ただし、字数指定のある問いはすべて句読点・記号も一字とする。)

相手の話している声が聞きづらいという高齢者や難聴者に向けて、話し掛ける側が伝わるようにする工夫が広がっている。音を聞き取りやすいスピーカーを活用したり、聞き間違えのないように電子辞書を使ったり。高齢者は聞こえないと外出をためらい、引きこもりにもつながりかねない。①「音のバリアフリー」の必要性は一段と高まっている。

「キクさん、聞こえますか」

「ああ、よく聞こえる」

7月上旬、川崎市の特別養護老人ホーム「みんなと暮らす町」の一室。生活相談員の植松佳子さんが話しかけると、難聴者の稲本キクさん(94)がしっかりと応じた。②接話マイクを付けた植松さんの声が、難聴者が聞き取りやすい音域で卓上のモバイルスピーカーから流れる。

同市は6月中旬から、卓上型会話支援機器を市内の介護事務所などに持ち込み、高齢者との対話改善に向けた実証実験を始めた。難聴者が補聴器を付けるのではなく、「話す側が難聴者が聞き取りやすい音や声をつくり出す」(同市次世代産業(A)スイシン室の滝口和央さん)ことで、(B)エンカツな対話につなげる狙いだ。

③稲本さんは補聴器を使うのをいやがり、植松さんが稲本さんと話す際は「耳のそばまで近づかなければならなかった」。ところが卓上型会話支援機器を使うと、接近しなくても、対面で話すことができる。「きちんと聞こえているんだなとわかる。」④「が全然違うから」と植松さんは話す。

市は実験を9月下旬まで続ける。使用する卓上型会話支援機器は市の認証製品。導入した施設には機器の費用の半額を補助し、利用を拡大したい考えだ。

機器を活用して、高齢者らが聞き取りやすくする取り組みは、多くの人が集まる施設でも広がっている。

東京・羽田空港の国内線第1ターミナル。日本航空は昨年8月、チェックインカウンター、空席待ちカウンターなどにアナウンスを聞こえやすくするスピーカー6台を設置した。

空港では館内放送や客同士の話し声でアナウンスが届きにくいことがある。このスピーカーは大きい音を出さなくても遠くまで響き渡る機能があり、言葉や音楽をはっきりと届けられる。実際に音を聞いた人からは『音が飛び込んでくる感じ』などと反応がいい」（空港業務担当のJALスカイの大西康晴さん）という。日本航空は今後、高齢の利用客が多い地方空港への拡大を検討している。

言い換えで聞こえやすくする取り組みも始まった。パナソニックとグループ会社のパナソニック補聴器（横浜市）は三省堂と協力し、聞き違いやすい言葉の言い換えや発音のコツを掲載したデジタル辞書「聞き間違えない国語辞典」を開発。3月から、スマートフォン（スマホ）用サイトで無料公開している。

「せんきよ（選挙）」と「けんきよ（謙虚）」、「しがこうげん（志賀高原）」と「きたちようせん（北朝鮮）」など、聞き違いの起こりやすい言葉を約150万組収録している。

介護の現場などで、この辞書を片手に、適切な言葉を探すなどの活用を想定。「例えば『握手』と『拍手』、『加藤』と『佐藤』は（C）マギラワシイ。まず子音が聞き取りにくくなるからで、『手を握る』と言い換え、名前をフルネームにしてみる」（パナソニック補聴器の光野之雄さん）といった具合だ。サイトは2018年3月まで公開の予定。

サービス関連企業も、このデジタル辞書を研修に活用している。ソラシドエア（宮崎市）は、パナソニックが開いた「聞き間違えない話し方講座」に同社の客室乗務員らに参加させた。利用者からも評価する声が多く、暮らしの様々な現場で浸透していくことが期待されている。

聞き取りがしにくい高齢者との会話に機器を使ったり、言い換えたりするのは効果がある。ただ、それだけでは十分とは言えない。企業研修などを手掛けるJBMコンサルタント（大阪市）の講師で、高齢者とのコミュニケーションに詳しい中尾知子さんは「高齢者がどういう状態にあり、どういう気持ちでいるのかを理解するのが前提」と指摘する。

高齢者は聞き取りやすい音域が狭くなり、特に女性の高音など周波数が高い音が聞き取りづらくなる。「ところどころ音がとぎれるため、全体として何を言っているのかわからない」（中尾さん）というケースが多い。

話す側が、聞こえないのではと思い込み、必要以上に大きな声を出すのは禁物。語調がきつく、高圧的になる恐れがある。中尾さんは「低い声で、ゆっくり、はっきりと話すことが重要」と話す。

相手の表情を確認することも大事だ。自分が難聴であることを知られたくないため、「分かっているなくても、ウン、ウンと答えてしまうことが少なくない」（中尾さん）。表情からどの程度、聞こえているのかを読み取り、それに合わせて話し方を変えることも欠かせない。

（日本経済新聞 夕刊 二〇一七年七月一〇日より）

〔注〕 * 周波数が高い音が聞き取りづらくなる

|| 周波数とは振動数のこと。当該音響により一秒間に何回鼓膜が揺らされるかを示す数値で、高い音ほど周波数が高くなる。日本語の場合、サ行・タ行・ナ行の音の周波数が高くなりやすく、聞き取りにくい。

問一 | 線 (A) 「スイシン」・(B) 「エンカツ」(C) 「マガラワシイ」のカタカナを漢字に直しなさい。

(一画一画丁寧にはっきりと書くこと。送り仮名が必要な場合、それも解答欄に書きなさい。)

問二 ―線②「接話マイク」により可能になるのはどのようなことですか。その機能を含め、解答欄に続くように、四十字以内で答えなさい。

問三 ―線①「音のバリアフリー」の説明として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 難聴という問題を抱える高齢者に役に立つ機器や環境を人々の手で作り、高齢者の聞き取り能力の改善を図ることで、人々が分けへだてなく他者と接することができるようにすること。

イ 高齢者は音を聞き取る力が徐々に落ちていくので、高齢者自身が聞き取れないことを自分から話し相手に伝えることで音の聞き取りで間違いがないように工夫し、コミュニケーションを取れるようにしていくこと。

ウ 加齢に伴い聞く力が落ちる高齢者は、大きな声を出されると語調がきつく聞こえたり高圧的な感じを受けたりするため、そのようなことを改善するために、問題になっている状況を周りの人と共有すること。

エ 年を取るにつれ音が聞こえなくなるという問題に対し、高齢者自身が聞こえるように工夫するのではなく、高齢者が音の聞き取りやコミュニケーションで不都合がなくなるように周囲の人々が配慮すること。

オ 高齢者の中には聞こえているふりをして実は聞いていない人や、その内容が分かっているにもかかわらず分かったふりをする人がいるので、行き違いを防ぐためお互いに気をつけていくこと。

問四 ―線③「稲本さんは補聴器を使うのをいやがり」とありますが、このように高齢者が補聴器を使うのをいやがるのはなぜだと考えられますか。その理由を本文中から二十字で探し、最初の五字を抜き出さなさい。

問五 空欄「④」に入る最も適当な言葉を本文中から二字で探し、抜き出さなさい。

問六 本文中の事例から、今後暮らしのさまざまな現場に必要なことは何だと考えられますか。それが端的に述べられている部分を本文中から十七字で探し、最初の五字を抜き出さなさい。

問七 高齢者が「七時」を「一時」と聞き間違えた。本文を踏まえてその背景と具体的な改善策を考え、八十字以上百字以内で述べなさい。(但し、改善策として機器類を使用してはいけない。途中で句点を用い、二文以上で解答しても構わない。)

受験番号

氏名

得点

一

問一

問二

問三

問四

問五

問六

問七

問八

問九

問四

問五

問六

問七

問八

問九

問十

問十一

問十二

問八 (Main question area with grid)

100 80

問九

問十

B

問十一

C

問十二

問十三

問十四

問十五

問十六

問十七

問十八

問十九

問二十

問二十一

問二十二

問二十三

問二十四

問二十五

問二十六

問二十七

問二十八

問二十九

問三十

問三十一

問三十二

問三十三

問三十四

二

問一 (Main question area with A, B, C sections)

100 80

問二 (Main question area with vertical text: が可能になる。)

100 80

問三

問四

問五

問六

問七

問八

問九

問十

問十一

問七 (Main question area with grid)

100 80

※

※

※

※

※

※

※

